

巻頭インタビュー

# ワーク・ライフ・バランスで 充実した人生を生きよう!

お笑いコンビ・パックンマックンのパックンことパトリック・ハーランさんは、25年以上前に来日した当時、日本人の働き方や会社での女性の立場に違和感があったといいます。ハーバード大学を卒業したマルチタレントとして活躍するパックンの目から見た日本人の仕事とプライベートのバランスは、その後どう変わってきているのでしょうか。13歳の息子と11歳の娘をもつ父親として、育児や家族関係についても語っていただきました。

## パトリック・ハーランさん

お笑い芸人・タレント

1970年生まれ。アメリカ合衆国コロラド州出身。1993年、ハーバード大学比較宗教学部を卒業後、来日。1997年、吉田真さんとお笑いコンビ「パックンマックン」を結成。現在は「報道1930」(BS-TBS)や「モーニングサテライト」(テレビ東京)などに出演中。2012年からは東京工業大学非常勤講師(「コミュニケーションと国際関係」)を務めている。「ツカむ! 話術」(2014年 角川書店)、「大統領の演説」(2016年 角川Oneテーマ21)、「世界と渡り合うためのひとり外交術」(2017年 毎日新聞出版)、「[日本バイアス]を外せ! 世界一幸せな国になるための緊急提案15」(2018年 小学館)、「ハーバード流「聞く」技術」(2020年 角川新書)など、著書多数。

